

令和7年度 第1回 自転車の活用推進に向けた有識者会議

前回の振り返り





分類	主なご意見
全般に関する意見	① <u>環境・健康・観光といった自転車のポジティブな部分のベースが安全</u>である。走行環境について国交省と警察庁が引き続き協力して進めてほしい。 ② 自転車の利用を増やすため、<u>安全なインフラを作ることが前提</u>にありつつ、<u>健康や環境などと組み合わせて、連携しながら進めていくことが重要</u>ではないか。 ③ <u>自治体や国が連携してデータを取ってエビデンスを作る、効果を測る</u>ということを進めていくべきではないか。 ④ 日本の自転車文化は、欧米と比べて劣っているように見えるが、独自の文化がある。自転車大国、シェアサイクル大国、自転車通勤大国であり、今後はその良さを伸ばしてほしい。
目標 1 都市環境に関する意見	① <u>地方版計画の策定数</u>が目標値に届いていないが、<u>次期計画においても目標を下げることなく推進してほしい</u>。 ② <u>地方版計画</u>の策定を働きかけてきたが、<u>策定による成果等について把握・分析できているのか</u>。
目標 2 健康に関する意見	① <u>自転車を活用することによる健康面の効果・エビデンス</u>について、<u>国から自治体に情報を提供してほしい</u>。 ② 自転車活用推進法の基本方針に「<u>青少年の体力の向上</u>」という記載があるが、<u>幼児期からの運動習慣の醸成、自転車への親しみといった捉え方がよいのではない</u>か。
目標 3 観光に関する意見	① <u>日本を自転車で旅したいという海外のニーズを受け入れる</u>ため、<u>サイクルツーリズムの更なる推進が必要</u>ではないか。 ② <u>地域の回遊性を上げるツール、オーバーツーリズム対策、地域の移動手段</u>として、<u>観光における自転車の活用を推進すべき</u>ではないか。 ③ <u>ナショナルサイクルルートに関して、ゲートウェイのアクセス性について</u>駐車可能台数など数値の規定はあるのか。<u>今後、基準や目安を定めるとよい</u>のではないか。 ④ 自転車の利用環境として、トイレの視点を入れてほしい。トイレの利用時間が限られていて、早朝など利用できない場合がある。
目標 4 安全・安心に関する意見	① 自転車の交通事故に関するデータはあまりないので、<u>交通安全に寄与するデータの収集について情報通信技術の活用</u>に期待する。 ② 自転車の安全利用の促進にあたって、<u>自転車対歩行者の事故件数が増えている原因と関係性など、基本的なところを分析していく必要がある</u>。 ③ 高齢者が乗りやすい自転車、荷物を運べる自転車、子供を乗せられるカーゴ自転車等を開発できるよう、<u>普通自転車の枠組みやルールの見直しが必要</u>ではないか。 ④ 学校の統合が進む中で自転車通学も増えてくる。<u>自転車に関するルールについて中等教育にも盛り込んでいくべき</u>ではないか。 ⑤ <u>中高生の自転車通学に焦点を当てた施策を展開してほしい</u>。その際、文部科学省の協力により、学校教育の中に交通安全の取組を入れていくことが必要である。<u>中高生の自転車乗車中の事故による死者数</u>について、段階的な目標も設定しつつ、<u>ゼロを目指してはどうか</u>。